

# 広島市歯科医師会だより



# 12 月号

No.212 (R6.12.12)

Hiroshima City Dental Association



## 年の瀬に 部屋のそうじと 歯のそうじ

西区支部 佃文蔵氏

### 告知

資生堂 Life Quality Beauty Seminar.....1

### 行事報告

第7回薬と健康の「やく薬フェスタ」.....3

令和6年度「8020」いい歯の表彰式.....3

令和6年度第1回広島市食育推進会議.....4

令和6年度カーブ歯科健診.....5

### 支部だより

中区支部.....6

東区支部.....6

南区支部.....7

西区支部.....9

### ちょっとイイ話

休日診療保険請求における留意事項について(総務部).....11

『ふるさと納税の返礼品は一時所得です』(総務部).....11

ChatGPTを使ってみました(学術部).....12

広島市歯科医師会会員紹介(厚生部).....13

～ハハ姉妹の学校ニュース《20時間目》「フッ素ってなに？」～(地域歯科保健部).....14

### 各部からの報告

広島市医療安全推進協議会より「こんな医療トラブルが起っています」(総務部).....15

今月の知っておきたいこと(広報部).....15

YouTube(広報部).....17

FMちゅーピー(広報部).....17

会長コラム『笑門來福』年の瀬.....18

11月定例理事会報告.....19

LINE公式アカウント 友達募集.....21

毎月季節柄注意喚起を促す俳句を募集しています！



被災時や緊急時の会員安否確認のための  
LINE登録をお願いします!!

現時点での登録者数 174/439人 2024.12.3現在



歯科医院スタッフ対象

大人気!!

資生堂

# Life Quality Beauty Seminar

【実習付き講座】

30名限定

歯科医院スタッフを対象とした「医療従事者としてのメイク」を実習つきで学んでいただきます。



ソーシャルエリアパートナー  
岩田 敦子



ソーシャルエリアパートナー  
永田 桂子



マネージャー  
野村 加奈子

医療現場では、メイクは派手なものを避けつつ、患者さんが不快感を抱かない適度な清潔感を出すことが重要とされています。それでいて自分をより綺麗に見せるメイクができると、気持ちもアップし、より自分らしく、仕事を楽しめるかもしれません！今回医療現場でのメイクを、プロから直接指導をしてもらえる実習付きセミナーを企画しました。

## スケジュール（実施内容）

| 項目        | 時間(分) | 内容  |
|-----------|-------|---|
| オリエンテーション | 3     | 挨拶・自己紹介・本日の講座の狙い  |
| 第一印象の大切さ  | 7     | 口もとがマスクで隠れている場合の第一印象は？  |
| スキンケア     | 20    | ・正しいスキンケアについて～敏感肌用を使用予定<br>・スキンケアを使用して案内 メイク落とし～化粧水・乳液～日焼け止め    |
| メイクアップ    | 55    | ・基本的なメイク方法<br>・肌づくり（下地＋ファンデーション）<br>・眉の描き方<br>・目元メイク<br>・ほお紅＋口紅 |
| まとめ       | 5     | まとめ・アンケート   |

教材は資生堂が準備（化粧品・テキスト・鏡その他）

資生堂人気ブランドマキアージュのアイテムを使用しての講座開催となります。

女性講師＋専任女性スタッフ4名によるきめ細かな指導

⇒少人数で参加者の修得度が高く、満足度が高い。

**日時** 令和7年3月1日（土）18:00～19:30

**場所** 広島県歯科医師会館 5階 501・502会議室

**費用** 1,000円/名

**募集人数** 最大30名

※できるだけ多くの歯科医院様にご参加いただけるように参加希望者多数の場合、医院ごとの参加人数を制限し、抽選にて決定いたします。

# 行事報告

## 第7回 薬と健康の「やく薬フェスタ」

日時：10月27日(日)午前10時

場所：広島駅南口「エールエール地下広場」

広島市薬剤師会主催により標記の会が行われた。

今回も昨年と同様、「オーラルフレイルって知ってますか？」と題して小早川尚史学術部委員長が、口腔領域由来のフレイル及び全身のフレイルについて、本会で作成した「ハハ姉妹」のアニメーションを流しながら解説を行った。

会場や主催者の薬剤師会から好評を得て終了した。



会場の様子

## 令和6年度「8020」いい歯の表彰式

日時：11月8日(金)午後1時

場所：広島市役所本庁舎 10階「市長公室」

標記の表彰式が、広島市8020運動・歯周病予防推進協議会(本会、安佐歯会、佐伯歯会、安芸歯会、広島市)の主催で松井一實広島市長臨席のもと開催された。本年度の受賞者は877名であった。昨年同様に縮小開催となり、各地区から4名の代表者のみの出席となった。

まずは瓜生賢会長より「本日表彰をお受けになるみなさんは、80歳で20本以上の歯を残そう、という8020運動の目標達成者でいらっしゃいます。これは20本以上自分の歯があれば、しっかり噛んでなんでも食べることができるだろう、ということから平成元年より日本歯科医師会と当時の厚生省が推進してきた健康目標です。平成元年当時は80歳で20本以上の歯を保っておられたのはわずか数%、平均すると4本くらいしか歯が残っていませんでした。ところがこの目標が設定され30年以上経ったいま、20本以上の歯を保っておられる方は5割を超え、平均17本程度の歯が残存している、というところまで来ることができました。もちろん、歯科医学の進歩や治療方針の変化も関係していますが、一番は国民のみなさんが歯の大切さをよく理解され、虫歯予防、歯周病予防に努めてこられた結果がこの数字にあらわれているのだと思います。おかげ様で8020運動はこれまで掲げられてきた健康目標のなかでも、最も成功したも

のの一つと言われるまでになりました。自分の歯をたくさん残しておられる方ほど、足腰も丈夫で認知症などにもなりにくく、健康である割合が高いことがわかっています。今は人生100年時代と言われていています。どうぞこれからも美味しく楽しい食生活を楽しみながら、健やかに毎日をお過ごしください」と祝辞が贈られた。

次に松井一實市長より「人生100年時代、健康寿命を延伸させることは重要であります。本市では令和6年3月に健康づくり計画「元気じゃけんひろしま21」を改訂いたしました。生活習慣を改善し、生活習慣病の発生、重症化を予防するこういった大きな柱を立てまして、個人の努力も重要ですが社会全体で健康を支えていきたいと考えております。8020運動は本市におきましては昨年度49.4%の方がこの目標を達成しております。

口は我々の健康の入り口であり、歯と口が健康であれば何でもおいしく食べることができ、体力が付く、そして体力を使って地域での活動に積極的に参加することができる、そういうことで生活そのものが楽しくなり明るいものになる、この様な好循環を目指しております。今日表彰を受けられた皆様方はこの好循環を申し上げるまでもなく日々実践されているお立場であります。皆様方が元気なお姿でおられることを見るたびに歯とお口の健

康に気を付けること、この様な方々が増えていくことが重要だと実感しております。本市では歯科保健対策をより一層推進してまいります。皆様方には本市のお手本になっていただきたいと思っております。本日は誠にありがとうございました」と祝辞を頂いた。

次に表彰者代表として小西将さんより「本日は 8020 表彰であります、私にとっては 8032 でございます。これだけ残っていることは丈夫に生んでくれた母親に先ず感謝したいです。私は船を持っており、40 年間休みの日はほぼ海に出ており、そんな関係で魚を食べていた

ことも一因ではないかと考えております。今後は 9032 を目指してがんばろうと思っております。最後に私事ですが、こういう賞を頂きますのは小学校で努力賞をもらって以来でありまして本当になんちゅうか嬉しくて嬉しくて感謝感激であります。本当にありがとうございました」と、笑い感動の混じる挨拶を頂いた。

最後に母谷龍典広島市議会議長の祝電が読まれ閉式となった。本会からは瓜生会長、小島将督理事、土屋崇文理事が参加した。



(左) 表彰式の様子 (右) 表彰式の参加者

## 令和 6 年度 第 1 回 広島市食育推進会議

日時：11 月 11 日(月)午後 3 時 30 分

場所：広島市役所本庁舎 14 階「第 7 会議室」

広島市では食育基本法第 33 条第 1 項の規定に基づき広島市食育推進会議条例を制定し、本市の食育推進計画の作成及びその実施の推進等のために食育推進会議(会長：松井一寛広島市長)を設置している。冒頭に上田久仁子健康福祉局保健部長より開会の挨拶があり、続いて渡部佳美副会長(広島女学院大学教授)が議長を務めることで以下の議事について協議を行った。

- ①第 4 次広島市食育推進計画について
- ②第 4 次広島市食育推進計画の中間評価について
- ③評価指標ごとの今後の課題について
- ④中間評価を踏まえた重点取組について(案)
- ⑤今後のスケジュールについて

第 4 次広島市食育推進計画の計画期間は令和 3 年度～令和 8 年度で、計画の中間年にあたる令和 6 年度に目標の妥当性や達成状況について中間評価を実施することとなっている。

広島市では第 1 次計画以来、基本理念「食を通じて健やかな体と豊かな心をはぐくむ」の実現に向けた取組として 3 つの「わ食(和食・輪食・環食)」を推進してきた。第 4 次計画ではさらに以下の 4 つの基本方針を掲げている。

- 基本方針 1：生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進
- 基本方針 2：持続可能な食を支える食育の推進
- 基本方針 3：新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進
- 基本方針 4：全市一体となった広島らしい食育推進運動の展開

これらのうち基本方針 1 には「健康的な食べ方(規則正しく、よく噛んで味わう等)の実践に向けた取組の推進」という項目がある。その調査項目「よく噛んで食べるなど食べ方に配慮する人の割合」(目標値 80%)について、令和 2 年度は 73.5%であったのに対し、この度の中間実績値は 67.7%と低下している。この中で、年

代性別では 30 歳代男性が最も低く、就業等状況別では勤労者、世帯構成別では一人暮らしが最も低かった点などを考慮し、本会として現状の取組に加えて今後、新たな広報活動などを検討し、広島市民への周知を図っていききたい。

会議には細原賢一広島市歯科衛生連絡協議会幹事(本会理事)が出席した。



広島市食育推進マスコットキャラクター

## 令和 6 年度 カーブ歯科健診

日時：11 月 24 日(日)午前 8 時 30 分

場所：マツダ Zoom-Zoom スタジアム「大会議室」

(株)広島東洋カーブの依頼を受けて標記の健診を行った。医科健診と併行して実施され、希望した選手とスタッフ合計 51 人を対象に、アンケート調査、口腔内細菌数検査(細菌カウンター使用)、口腔内診査、お口に関する相談を行った。

アンケート調査では、口腔内で気になっていることや歯磨きの習慣に関して、かかりつけ歯科医院の有無、定期健診受診の有無などの一般的な質問に加えて、奥歯でしっかり噛みしめられているか、スポーツマウスガード使用の有無、矯正治療経験の有無などの質問も行った。

シーズンオフ時にかかりつけ歯科医にてしっかり健診とメンテナンスを受けている選手もいれば、県外から入団した選手の多くはかかりつけ歯科医をもっておらず、任意にも関わらず積極的に歯科健診を受ける選手が多くみられ、口腔に対する意識の高さがうかがわれた。

スポーツマウスガードを使用している選手は少なく、また関心のない選手が多かった。野球は着用をルールで

義務付けられてはいないが、ダイビングキャッチした時に歯が欠けたという選手もおり、外傷予防のためにも使用を推奨したい。

また、アミノ酸などを含むスポーツドリンクをよく摂取するという選手には酸蝕症が認められた。選手自身が気づきにくい場所にてきたう蝕などに対しては、口腔内カメラを使用して説明し、歯科保健指導を行った。

今後もアスリートの歯科健診を積極的に行うことで、歯・口腔を通じてアスリートの健康に対する意識向上、更にはスポーツ歯学の普及・啓発に繋げていきたいと考えている。

なお、この健診には、能美和基副会長・若林大輔副会長と本会地域歯科保健部の藤田友昭理事、土屋崇文理事、前田羊一委員長、中川誠副委員長、森川英彦副委員長、岡田浩幸委員が出務した。



(左) 健診の様子 (右) カーブ健診の出務者

# 支部だより

## 中区支部

### 第10回 吉島圏域在宅医療 BCP 勉強会

日時：11月20日(水)午後6時30分

場所：はしもと内科 2階「デイサービスささゆり」

標記の会が開催された。

橋本尚政中区医師会理事の司会進行の下、今回講師に「もみじ銀行」より坂口知樹氏を迎え、大災害を含む非常時における「もみじ銀行」のBCP(事業継続計画)を講演された。

主なBCPの内容は、1.重要業務の選定、システムの復旧 2.本店支店の要員確保 3.非常時を想定した訓練等が挙げられ、それぞれの内容について、銀行としてのBCPのあり方について、講演が行われた。特に、災害時下においては、お金の出し入れ、当面の生活に必要なお金の確保等は、勉強会参加者一同関心の深いところである。それについての説明も行われた。

今まで、行ってきた医歯薬関連のBCPとは異なり、他業種のBCPに触れたことは新鮮な気持ちだった。なお、この勉強会には中区支部より波田佳範支部長、小松大造氏、辰本将哉氏が参加した。



勉強会の参加者

## 東区支部

### フェイスネット「TRITRUS」講習会

日時：9月13日(金)午後7時

10月23日(水)午後7時

場所：広島医師会館 3階「視聴覚室」

標記の会が開催された。地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、ケアマネジャーなど多職種協働による在宅医療の支援体制を構築するフェイスネット事業の一環として運用しているICTを利用した在宅医療看護の多職種連携システム(カナミック社のTRITRUS)の使い方の初心者向けコースであった。

まず、システムの特徴や利用メリットの説明があり、続いて、基本操作や実際の投稿などのハンズオン講習を行った。その後、実際に利用されている平田智加子仙境

堂薬局戸坂店管理薬剤師や、沖政盛治 JR 広島病院緩和ケア内科主任部長による事例発表があった。

おひとりの在宅の患者さんの情報を、連携している多職種の方がリアルタイムに共有できるシステムを有効に活用できるようになる講習会となった。

なお、この講習会には岩井敏之支部長、尾崎昌康副支部長、木村太言氏、白神葉子氏、新谷奈穂子氏が参加した。

## 令和6年度 東区市民公開講座

日時：11月17日(日)午前10時

場所：東区民文化センター「ホール」

東区地域保健対策協議会、東区医師会主催で標記の講座が開催され、今年度は本会東区支部が担当した。

2部形式で行われ、1部では二川浩樹広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授が「健口長寿に役立つお話！」と題してご自身が見つめられた L8020 乳酸菌や開発された Etak についてわかりやすく、面白くお話された。2部では安田裕己安田大サーカス団長が「団長安田の笑い与健康」と題してご自身が被災された阪神淡路大震災の

当時のお話や、今までの病気やけがから学んだことについて軽快にお話された。講演の最後に観客からの「座右の銘は何ですか？」という質問に「コツコツが勝つコツ」「限界気のせい」「一所懸命」を挙げられ、我々の仕事に対する姿勢に通ずるものを感じた。

会場は満員のお客で埋め尽くされ、口腔の健康に対する意識の高まりを感じた講習会であった。



(左) 講演をする二川浩樹広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授

(右) 講演をする安田裕己安田大サーカス団長

## 南区支部

### 第23回 南区ボランティアフェスティバル

日時：10月27日(日)午前10時

場所：「南区役所別館」 駐車場および1～4階

標記のイベントが「つなげよう！笑顔と絆」のテーマのもと、南区ボランティア連絡会の主催で開催された。歯科医師会南区支部としては5年ぶりの参加であった。

歯科ブースでは、スタンプラリーの受付と、歯科検診および歯科相談、ミルキンを使ったプラーク内の細菌観察を行い、合計54名の来場者があった。そのうち、35名が歯科検診を受け、大変好評であった。また、ミルキンによるプラーク内の細菌観察は、皆さん一様に驚かれ、興味深く観察されていた。この細菌の一つ一つが分裂して塊を作り、プラークになることを説明すると、ブラッシングの重要性を再確認されて、啓発活動として大きな成果を挙げたと思われる。

その他、南区医師会、広島市薬剤師会、看護協会南区支部など、多くの団体が参加し、各ブースで多彩な催しを行い、大いに盛り上げていた。

なお、このフェスティバルには南区支部より竹田茂支部長、平井由美副支部長、伊藤良明氏、上田裕次氏、近藤令依氏、山本眞理子氏が出務した。



イベントの参加者

## 令和6年度 県立広島病院共催南区支部学術研修会

日時：11月7日(木)午後7時30分

場所：県立広島病院新東棟 2階「研修室」

標記の会が開催され、南区支部会員及び衛生士15名が参加した。

まず、竹田茂支部長より開会の挨拶があり、続いて神田拓県立広島病院歯科・口腔外科主任部長より、オーラルフレイルから始まる摂食嚥下障害の講演があり、

- ①摂食嚥下障害
- ②サルコペニアとオーラルフレイル
- ③嚥下の仕組み
- ④嚥下スクリーニング検査
- ⑤歯科でのリハビリ指導

上記の内容で、実習を交えて行われた。

最後に、平井由美副支部長より閉会の挨拶があり、研修会は終了した。



講演をした神田拓県立広島病院歯科  
口腔外科主任部長

## 令和6年度 南区の在宅医療連携を考える研修会

日時：11月11日(月)午後7時10分

場所：オンライン形式 (Zoom)

標記の会が「連携が取りづらい医療機関の特徴～相互理解を深めよりよい連携を～」を演題に荒木大地真田病院社会福祉士によるミニレクチャーと「在宅医療における多職種チームケアについて～在宅緩和ケアサポートパスの取り組み～」の演題で遠矢純一郎桜新町アーバンクリニック在宅医療部院長による特別講演が開催された。

まずミニレクチャーでは問題点として「病院の対応・対応力不足」「病棟内で看護師等の情報伝達が不十分なケースの多さ」「クリニックなどでは専門の相談スタッフがいないこと」「院内が忙しかったり、急な退院で連携がうまくいかない」「クレームとして医療職員の対応が悪く二度と電話したくない」等を挙げられた。さらに連携の取りづらいケースとして「入院患者の問い合わせで、病棟担当者が日々異なり情報共有が難しい」「退院前カンファレンスで担当医が最後まで参加できず質問ができない」「質問しても担当医までたどり着かない」「中間報告や退院報告がなく在宅で混乱が生じた」ことを述べ、改善方法として「担当医と話せる時間帯でアポイントを取ること」「あらかじめカンファレンスの前に患者の希望を聞くこと」「前回話したことを簡潔にまとめておくこと」「連携アプリツールMCSの活用」そして関連

事業所へのお願いとして対応・対応力の向上に努め「〇〇病院は相談がしやすいなどの評判をつくる」等を提起された。続いて特別講演に移り、日本では癌で在宅看取りができるのは15%程度と欧米に比べて著しく低く、その理由として家族等の希望があり死の直前まで癌治療を行っていることや、医師よりこれでは帰宅させられないなどの指示があるとのことで、今後患者サイドと残りの時間をどう過ごしたいのかよく聞き地域在宅医療者と密に連携をとる必要性を訴えられた。末期癌患者の在宅医療は平均67日程度で、介護には様々な症状や不安がつきまとうが適切な緩和医療の施行を例を挙げて解説された(輸液量を1500mlから500mlへ減量することやモルヒネの持続皮下注射等)。また、日本では病名告知は96%であるが予後告知は11%と低く、サポートパスを利用して医師を頂点としたケアを改め多職種連携を深め、お互い物が言い合える環境が大事で、顔が見えるヒューマンネットワークを作ることが推奨された。Medical Care Station を利用し手間がかからないようにRPA(ロボットによる業務の自動化)を導入し、緩和ケアから看取りまでを網羅したパスを作り、地域で活用できるシステムにすることの重要性を熱弁された。また、診療の質

の向上、アセスメントツールとして STAS-J(ホスピス・緩和ケアの質の評価)や PPI(予後予測スコア)の積極導入を呼びかけられた。最後に癌緩和ケアを受ける場所は自宅が一番支持されており、緩和ケアは敗戦処理ではなく

生きるための支援であると語られた。司会の野島秀樹南区医師会理事による総括後、研修会は終了となった。

南区支部より竹田茂支部長、芥川桂一氏、伊藤良明氏、伊達弘恵氏、中川誠氏、水内裕之氏が参加した。

## 令和6年度 翠町包括圏域在宅医療・介護関係者研修会・連絡会

日時：11月20日(水)午後7時

場所：南区役所別館 4階「大会議室」

翠町包括圏域での摂食嚥下障害における多職種連携という観点から、本人の意思決定に沿った医療・介護の提供ができるような支援方法や、関係者間の連携を推進するために、上記の研修会がおこなわれた。

南区の医師、歯科医師、訪問看護師、介護支援専門員等多職種が、42名参加した。初めに、半田徹広島市南区地域保健対策協議会会長から開会挨拶があり、吉川峰加広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学研究室准教授を講師にお招きし、講義「オーラルフレイル・口腔機能低下症から摂食嚥下障害へのながれと予防対策」がおこなわれた。

民生委員など、歯科の知識が少ない参加者にも考慮されて、オーラルフレイルと口腔機能低下症、サルコペニアと摂食嚥下障害、口腔機能の低下予防策について、解りやすく丁寧に説明された。プロジェクターの調子が悪く、講師が用意された動画が再生できず、途中でプロジェクターを交換したため、意見交換の時間がなく、各グ

ループで参加者が一言意見を言っただけになったのが、少し残念であった。最後にまとめ・閉会挨拶を野島秀樹広島市南区地域保健対策協議会理事がされ、野島理事は在宅での摂食嚥下障害を歯科に繋げるのは医師の役目であることを説明された。南区会員の参加は竹田茂支部長、真田美由紀氏、高橋兼一郎氏、伊達弘恵氏、中川誠氏の5名であった。



講演会の様子

## 西区支部

### 令和6年度 西区災害対策医療研修会

日時：9月25日(水)午後7時

場所：広島医師会館 3階「健康教育室」

標記の会が広島市西区地域保健対策協議会主催により、新田哲也広島市西区地域保健対策協議会理事の司会の下開催された。

隅田伸二広島市西区医師会会長の開会挨拶の後、北口浩広島市西区医師会副会長が座長となり、皆川英明紙屋町こころのクリニック院長による「災害時の精神科医療の役割—DPAT 活動を中心とした心のケア—」と題した講演が行われた。

講演を聴いて以下のことを学んだ。DPATはDMATの精神科版である。自然災害や犯罪事件、航空機・列車事故等が発生した場合、災害地域の精神保健医療機能が一時的に低下し、さらに災害ストレス等により新たに精神的問題が生じる等、精神保健医療への需要が拡大する。その対応として専門性の高い精神科医療の効果的・効率的な提供と精神保健活動支援が必要となる。DPATはこのような活動を行うために、都道府県・政令市によって組織される専門的な研修・訓練を受けたチームである。

命にかかわるような恐怖・危険を感じたときにおこる心の変調として外傷後ストレス反応(トラウマ反応)がある。これには①つらい出来事が思い出される「侵入症状(再体験)」②身体や感覚が敏感になる「過覚醒」③恐怖や再体験につながる刺激をさける「回避」④意識や考えが鈍感になる「麻痺」⑤ボーッとしたり現実感がなくなる「解離」などがある。

多くは自然に回復するが、1年以上も続くようであれば自然寛解に至ることはなく PTSD に移行する(アルコール依存や抑うつを呈する人もいる)ので専門的ケアが必要である。次に、大切な人・物・場所を失ったときに起こる心の変調に対象喪失反応(特に悲嘆)がある。悲嘆反応は非常に強く苦しい痛みだが、死というものの重みに相応しい、健康な反応である。注意が必要な悲嘆は、「1.長期化している。2.重度の抑うつ状態や外傷後ストレス反応が認められるなど悲嘆反応が強すぎる。3.アルコール多飲や社会的孤立などの行動上の問題が認められる」場合である。放置しておくことと自殺に至ることがある。また、被災によっておこる心の変調は、支援者にも起こりうる(惨事ストレス)。心の健康を保つ秘訣として①人とのコミュニケーションを保つ。②災害に関する報道に

過度に触れない。③過度のアルコール・カフェイン摂取は控える。④ゆっくりと深く呼吸する呼吸法を取り入れる。

最後に、新矢誠人広島市西区地域保健対策協議会副会長の閉会挨拶により終了となった。

その後、懇親会が行われ多職種での意見交換が行われた。

我々歯科医師も JDAT に参加される方は、惨事ストレス対策をする必要があるようだ。

なお、西区支部からは平尾慶太支部長、松原博久副支部長、山我貴之氏、山崎香氏の4名が参加した。



研修会の参加者

## 第40回 西区民まつり

日時：11月3日(日)午前9時20分

場所：「広島サンプラザ」及び「西部埋立第五公園」

標記のイベントが開催された。

前日は大雨警報が発令されるほどの豪雨に見舞われたが幸い当日は雲一つない快晴で、会場は多くの来場者で賑わった。歯科のブースでは恒例のブレストロンによる口臭測定に73名、歯科相談に18名、矯正相談に11人の来訪があった。

口臭測定検査では幅広い年代の方が来場されたが、COVID-19感染症の5類感染症への移行によりマスクを外す機会が増えたことで口臭への関心が高まっているのではないかと推測している。

参加した各歯科医師は午後3時30分まで交代で来訪者の対応にあたり、帰路についた。

なお、西区支部からは平尾慶太支部長、松原博久副支部長、鶴崎芳光氏、柄博紀氏、佃文蔵氏、中脇貴俊氏、藤岡正朗氏、横山真樹氏が出務した。



参加した西区支部会員



### 総務部

## 休日診療保険請求における留意事項について



大井手和久理事

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にしていただけたら幸いです。

- ・ 暫間充填を実施しているのに、記載はう蝕除去となっており、カルテ記載内容が実態に即してないものがございました。実態に即したカルテ記載をお願い致します。

## 『ふるさと納税の返礼品は一時所得です』



平田誠副委員長

年末になり多くの先生方がふるさと納税を利用しているかもしれません。

ふるさと納税は、自治体に寄附をした場合に確定申告を行うことで、収入や家族構成などに応じた一定の上限はありますが、自己負担額の 2,000 円を除いた全額が所得税と住民税から控除される制度で、平成 20 年から始まりました。

ふるさと納税では、多くの自治体が返礼品を用意しています。ただ、寄附者を多く募るために、地元の特産品ではないようなものを返礼品とする自治体や、高額な返礼品を用意する自治体が現れたことから地方税法が改正され、令和元年からふるさと納税に係る指定制度がスタートしました。

具体的には、寄附金の募集を適正に実施する地方団体で、返礼品の返礼割合を 3 割以下にすることと、返礼品を地場産品とすることを満たす地方団体を、ふるさと納税の対象として総務大臣が指定することになりました。

ふるさと納税で返礼品を受け取った場合、供与された返礼品に係る経済的利益は一時所得に該当します。一時所得の特別控除額は最高 50 万円なので、その年中の他の一時所得も含めた一時所得の収入金額の合計額が 50 万円を超えると、所得税の課税対象になります。

一時所得には、生命保険の一時金や損害保険の満期返戻金、競馬の払戻金なども含まれますので、そのような所得がある場合は注意が必要です。ふるさと納税の返礼品の価額を把握する方法には、①返礼品の発送元である自治体に問い合わせる、②寄附金額の 3 割で概算する、といった方法があります。

なお、返礼品に係る経済的利益を一時所得の総収入金額として計上する時期は、ふるさと納税を行った年分ではなく、返礼品を受け取った年分になりますので、担当の税理士の先生とよく相談して申告することをお勧めいたします。

(参考：国税庁ホームページ)

## ChatGPT を使ってみました



大塚道征委員

ChatGPT とは、対話形式で AI が人間の質問に回答するジェネレーティブ AI(生成系 AI)の一種です。2022 年 11 月に OpenAI 社が開発・提供したサービスで急速に利用されています。この ChatGPT を使い「フッ素塗布の有益性と為害性について 400 字程度で説明してください」と質問してみました。

回答は以下の通りでした。

「フッ素塗布は虫歯予防に効果的な方法とされています。有益性としては、フッ素が歯の表面に作用し、エナメル質を強化することで、酸に対する耐性を高める働きがあります。これにより、虫歯の発生を抑え、初期の虫歯であれば自然治癒を助けることも期待できます。また、フッ素は歯の再石灰化を促進し、失われたミネラルを補うことで、歯の健康を保つ効果があるとされています。特に子供の歯の発育にとっては有用で、虫歯のリスクが減少するため、将来的な治療費の削減にも繋がります。

一方、フッ素の過剰摂取には注意が必要です。為害性としては、特に乳幼児が過度にフッ素を摂取すると、歯のフッ素症と呼ばれる症状が生じる可能性があります。これは歯に白い斑点ができるもので、美観上の問題となる場合があります。また、フッ素の安全性に関する意見も一部では分かれており、フッ素が体内に蓄積されることで、健康に影響があると懸念する声もあります。

総じて、適切な量のフッ素塗布は虫歯予防に有効とされていますが、過剰摂取を避け、歯科医と相談しながら使用することが重要です」(457 字)

今回は無料のアプリを用いて行いましたが、特に間違ったことは書いていませんでした。このように、ChatGPT は精度の高い回答を行いますが、必ずしも情報が正しいとは限りません。また、商用利用することも可能とされていますが、生成されたテキストが既存の著作物と類似した内容になっていた場合には著作権侵害の可能性もあるので、注意が必要です。HPなどでブログを掲載している先生などは、使用してみても良いかもしれません。

(参考文献) 株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

ChatGPT とは? 始め方や賢い活用方法などわかりやすく解説 参照

<https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/column/technology/chatgpt.html>



## 広島市歯科医師会会員紹介

厚生部では会員の相互の認識を深めるべく、新入会員の先生を中心にインタビュー記事を掲載していきたいと思えます。

今月は、地域歯科保健部の光山素夫先生です。それではよろしくお願ひします。

### Q1. まずは先生の自己紹介をお願いします。

光山素夫と申します。出身大学は松本歯科大学です。母校で1年研修医として勤め、開業医での勤務ののち実家でもある父の医院で勤務しました。2022年10月から開設者を私に変え、光山歯科医院を継承して現在に至ります。大学では日本拳法部でデンタルに向けて汗を流していましたが、歯科医師になると手を怪我するリスクって怖いすね(笑)。今は2週間に1回くらいののんびりしたペースでランニングしています。痩せるためというより美味しい食事の言い訳のためです(笑)。歯科医師会に入会してお声がけをいただき、地域歯科保健部に在籍させてもらっています。市民の皆様への講演活動やラジオ収録など、普段の診療とは違う活動に刺激をもらっています。



(右端) 光山素夫氏

### Q2. 先生が歯科医師を目指したきっかけを教えてください。

私が幼い頃(4歳くらいのとき?)現在住んでいる実家が建ちました。ここが診療所兼住宅の造りなので、どうしても歯科医師という仕事はハッキリとではなくとも意識していたと思います。郵便受けに技工物が入っていて、小学校から帰った私が郵便物と共に父に渡す…というのも生活習慣の一つでした。鏡面研磨されたインレーを見て「ツヤツヤじゃ…キレイなもんじゃの～」とか思っていましたね。



### Q3. 子供の頃、歯科医師以外でなりたい職業はありましたか?理由もあれば

うーん?週刊少年ジャンプが大好きな子供でしたが…とって漫画家になりたいわけでもなかったですし…音楽を聞くのも好きですが…ミュージシャンを目指すほどでもないですし…ないような気がします(笑)。

### Q4. 先生の仕事の息抜きとはなんでしょう?

先ほど申し上げたランニングなんかはリフレッシュも兼ねますね。皆さんもそうだと思いますが、普段室内で狭い口腔内を覗き込んでの仕事なので(先生によってはマイクロやルーペも使いながら)日光を浴びて遠くを見ながらのランニングは目にも良い刺激になってる気がします(エビデンスなし。個人の感想です笑)。あとは料理したりスマホで時間が溶けていったりですかね。(あれ?息抜きでも目を酷使してる?)

### Q5. 歯科医師会に入って良かったこと。歯科医師会でやってみたいことがあればお願いします。

地域歯科保健部での活動によって様々な方とご縁を頂けるのはありがたいです。また、新規指導の際には経験された先生方から「こんなことを聞かれたよ」「こういうことに気を付けるといいよ」などお話を聞くことができ、本当に支えになりました。

## Q6. 最後に30年後(もしくは70歳)の自分にメッセージをお願いします。

生きていれば後悔することが起こるのは仕方ないですが、可能な限り「納得できること」を積み重ねていけるといいなあと思います。

…どうなってますかね?(笑)

先生ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。



インタビュアー：高橋由佳委員

### ～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

## 地域歯科保健部

### ～ハハ姉妹の学校ニュース《20時間目》「フッ素ってなに？」～

**フッ素ってなに？**

デジタル版《20時間目》

広島市歯科医師会キャラクター「ハハ姉妹」

毎日の歯みがきで「フッ素入り歯みがき粉」を使用したり、  
歯医者さんで「フッ素塗布」をしていますか？

**フッ素ってなに？**

フッ素は土の中や海水中に含まれている物質で、緑茶、肉、野菜、海産物などの食品中にもフッ化物として含まれています。歯みがき粉に入っているも歯に塗る「フッ素」もフッ化物で、むし歯予防のために正しく使用すれば口の中に入っても安全です。

**フッ素の3大効果**

- ①初期のむし歯をなおす(再石灰化)
- ②酸に溶けにくい強い歯をつくる
- ③むし歯菌の活動を弱める

**歯医者さんでいつ塗るのがいいの？**

生えたばかりの歯は酸に弱くてむし歯になりやすいので、特に乳歯が生える時期や永久歯に生え変わる時期が効果的です！

**歯医者さんからのメッセージ**

毎日の歯みがきは「フッ素入り歯みがき粉」を使用し、また子どものうちから定期的に歯医者さんで「定期健診」と3～4か月毎の「フッ素塗布」を行うことでむし歯を予防し「8020」を目指しましょう！

尾山奈々子先生

**8020**  
80歳になっても  
20本以上自分の  
歯を保とう

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変してください。

※今回は地域歯科保健部 尾山奈々子氏他が作成いたしました。

ハハ姉妹学校ニュースは、患者さんへの説明の為に作成しております。

PDFは下記URLまたはQRコードよりダウンロードしてください。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



# 各部からの報告

## 総務部

### 広島市医療安全推進協議会より ―こんな医療トラブルが起きています―

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

#### 事例1：歯列矯正中のSPT

現在矯正治療中で、同じ医院で定期的にメンテナンスを受けている。しかし、歯科医師の診察はなく、衛生士からも口腔内の説明がなく不安である。歯科医師の診察がないことは問題ないのか、矯正治療中に他院でメンテナンスを受けることは問題ないのか知りたい。

(センターの対応)

まずは通院中の医院に対して説明を求め、納得できない場合には歯科医師会に相談するように伝えた。

(コメント)

SPTの実務は歯科衛生士が中心に行なっていると思いますが、歯科医師法において歯科医師の診察がない診療は無診察治療となります。

また、コミュニケーションの不足は患者に不信感や不安を与えかねません。治療中やSPT時にはできるだけ会話や説明を行うようにしましょう。

#### 事例2：：スタッフ間での説明内容の齟齬について

治療の説明はあるが、同じ部位・治療の説明において歯科医師と歯科衛生士とでは説明内容が異なり、不信感が強く別の歯科医院の予約を取った。

(センターの対応)

既に別の歯科医院を受診することになっているが、納得いかない状況について話したい希望はあるようなので、その旨を伝えるように提案した。

(コメント)

治療計画の申し送りなどスタッフ間でコミュニケーションをとり、共通の言語や認識を共有しましょう。

## 広報部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

### 新しい歯科用局所麻酔剤の国内薬事承認を取得 岡山大学

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/3339>

岡山大学は10月23日、新しい歯科用局所麻酔剤の一つとして「セプトカイン配合注カートリッジ」(一般名：アルチカイン)が国内薬事承認を取得したことを公表した。歯科用の局所麻酔剤は、患者の全身状態や歯科処置の状況に対応できる性質が求められ、一つの製剤だけでカバーするのが困難である。現在国内では、3種類の局所麻酔剤が使用されているが、欧米の5種類に比して少数であった。アルチカインは、欧米ではリドカインに次いで広く使用されている局所麻酔剤であり、国内ではこれまで使用することができなかった。そこで今回、岡山大学の主導により、約8年間かけて治験が行われ、国内薬事承認を取



得した。このことにより、世界的に使用されているアルチカイン製剤が、初めて国内で使用可能となった。

考察

アルチカインは、局所で作用した後に速やかに麻酔効果のない代謝物となり排出されるため、麻酔成分が全身的に作用するリスクが低いといわれています。また、肝臓のみならず血中の非特異的エステラーゼによっても代謝され、肝機能が低下している患者に対しても安全に使用できると考えられています。今後、多くの患者に有用な局所麻酔剤として使用されることに期待したいです。



柄博紀委員

## 食事は「量」も大切 ～高齢者の低栄養(国立長寿医療研究センター 荒井秀典理事長)～

<https://medical.jiji.com/topics/3577>

食欲が落ちたり、かむ力が弱くなったりして食事量が減り、体を動かすエネルギーや筋肉などを作る栄養が不足した状態を「低栄養」と呼ぶ。特に高齢者ではその割合が高い。国立長寿医療研究センター(愛知県大府市)の荒井秀典理事長は「食事の質はもとより、十分な量を取ることも大切です」と話している。



考察

高齢の患者さんと話していると、食べる量が減ったとよく言われます。食事量の減少は年を取ったら仕方ないことと捉えていましたが、毎日必要な量が取れないとじわじわと体力も低下することを今後は重要視しなければならないでしょう。我々も、歯科医の立場から健康寿命の延伸に寄与する必要があると考えます。



小林裕子副委員長

## 「歯の健康相談 mamoru」利用者数が4万人を突破！国民皆歯科検診を見据え、企業や地方自治体でも導入中

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000027.000104593.html>

株式会社 Dental Prediction が2024年4月にリリースした「歯の健康相談 mamoru(マモル)」の利用者数が4万人を突破し、相談件数が5000件を超えた。



「歯の健康相談 mamoru(マモル)」は時間や場所を問わず気軽に歯科医師に相談したり、最寄りのクリニックを予約したりすることのできる無料のアプリサービスである。Dental Prediction は健康保険組合との連携や実証実験の取り組み、歯科業界で同じ目標を掲げる企業との業務提携を行ってきた。2025年の国民皆歯科検診を見据え、今後地方自治体や企業との連携を強め、口腔機能の維持・向上を支援し、国民の健康寿命延伸に寄与す

ることを目指す。

考察

私自身、このようなサービスがあることを初めて知りました。現在、このサービスの相談員として100名以上の歯科医師がおり、あらゆる悩みについて個別に相談が可能とのこと。歯科医院に行くのが億劫な人はたくさんいると思いますが、こうしたサービスを気軽に利用できることは、特に若い人が歯科受診をする大きなきっかけとなるのではないのでしょうか。



永井亮委員

## 歯の矯正「手軽」「安価」うたうサービスに注意 歯科医ほぼ関与せず、訴訟も…専門家に聞く「向き不向き」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/454a7f3c3cc81b7fb6f6e328e7df70f2424a67e3?page=2>

ネットやSNSで「手軽」「安価」をうたう人気の歯列矯正サービスについて「歯科医師がほとんど関与しないものがある」「不適切な治療のリカバリーについての相談が急増している」などとして歯科医師らが注意喚起をしました。2023年には詐欺的な商法の被害にあったとして、患者らが医療機関に集団訴訟を起こすなど、大きなトラブルも。「向き不向きがある」という治療を受ける際のポイントとあわせて、専門家を取材しました。



考察

現代社会において急速なAIの発達により、我々の生活は大変便利になってきました。

歯科分野においてもAIの進出は進んでおり、特に矯正分野におけるマウスピース矯正は近年目まぐるしい進

化を遂げております。ワイヤー矯正と比べ、施術時間が短くなり、直接的施術も少ないことや装置が見えない矯正としてニーズがあることから、導入する医院が増えています。しかしながら、従来のワイヤー矯正とは違い、患者さん自ら22時間以上装着する自己管理能力が求められると、まだまだ脱ワイヤー矯正とは言い難いと思われれます。マウスピース矯正がエビデンスを持った学問として確立されるまでまだまだ時間がかかるでしょう。未完成な分野に対して、「手軽」「安価」「マウスピース矯正は万能」と謳うことは医療としてナンセンスのように感じます。



小島将督理事



## 【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。

10月2日放送分

「歯科衛生士の仕事は」

八谷文貴氏

<https://x.gd/uwRFR>



10月16日放送分

「歯科技工士の仕事は」

河村道彦氏

<https://x.gd/LM29H>



### FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

12月4日放送分

「オーラルフレイルについて」

濱本結太氏



フレイルとは健康な状態と要介護状態の中間の虚弱な状態のことで、近年生まれた新しい概念です。フレイルに先立ち、お口の機能低下であるオーラルフレイルが起こるといわれており、口腔(こうくう)機能の維持が健康寿命の延長につながると考えられています。歯科医師の濱本結太さんがオーラルフレイルについて解説します。

12月18日放送分

「知覚過敏の原因は」

永井亮氏



知覚過敏になると、冷たいもので歯がしみる、歯磨きの時にぴりとした痛みがある、といった症状が出ます。テレビCMでも知覚過敏用の歯磨き剤が紹介されるなど、困っている人は多くいます。虫歯以外でも起こる知覚過敏の原因について、歯科医師の永井亮さんが解説します。

早いもので今年もあと 2 週間少々となりました。本年も本会事業に格別のご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。執行部一同、心から感謝申し上げます。

さて、今年のクリスマスパーティーで「来年の干支は甲辰。勢いよく活気あふれる年にしたいですね」とご挨拶申し上げたのですが、元日の能登半島地震で幕を開け、政界は裏金問題に揺れ、衆院選は与党大敗、海の向こうアメリカではドジャースの大谷翔平選手が多くの記録を作り大活躍したかと思えば、接戦が予想されていた大統領選挙でドナルド・トランプ氏が圧勝するなど、波乱万丈と言って良い一年だったように思います。加えて夏は災害級の暑さでしたし、先月半ばから一気に冷え込むなど気候さえも乱高下。おまけに金融市場も乱高下。なにかと気の抜けない一年でした。

そのような情勢だった今年ですが、本会においては緊縮財政を強いられながらも粛々と従前どおりの会務を滞り無

く執り行えたと自負しております。その中でひとつ大きな決断をしたのは、来年の「おくちの健康展」の開催時期についてです。これまでずっと 6 月のむし歯予防デー前後の日曜日に開催をしてきたわけですが、会場であるそごう広島店さんのご都合により前日準備が困難となってしまいました。これまで通りの日程で開催すると、夜を徹しての準備作業を行うこととなり、経費もかさみますし地域歯科保健部の委員をしてくださっている先生方にも大きな負担をかけることになってしまいます。会場の変更等も検討いたしましたが、そごう広島店屋上に勝る会場(場所、集客力、費用等)を見つけることはできず、やむを得ず来年から開催を 4 月にさせていただくことといたしました。すでに第一回関係者会議を終え、着々と準備を進めているところです。これまでとは異なる時期の開催ということで、市民への周知をどうするかなど、まだこれから検討すべき課題はあり

会長コラム (第 17 回)

# 笑門來福

年の瀬

瓜生 賢

ますが、地域歯科保健部の先生方が現在一生懸命準備してくださっていますので、きっとこれまでも増した良いおくちの健康展になるものと確信しております。また開催が近くなりましたら会員の先生方の医院にもポスターやフライヤーをお届けいたしますので、例年以上にしっかり宣伝していただければ幸甚です。

本稿を書いている時点で今年はまだあと 1 ヶ月。本会の大きな事業もクリスマスパーティーを残すのみとなりました。寒さ厳しい折、先生方にはどうぞご自愛頂き、すこやかに新年をお迎えくださいますよう祈念しております。

では、1 月 4 日(土)の新年互礼会でお会いしましょう。

良いお年をお迎えください!

# 11 月定例理事会報告

## 「部外報告」

10月24日 (県歯)広島県四師会役員連絡協議会  
 10月26日 第55回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会 本会議(熊本)  
 10月27日 第7回薬と健康の「やく薬フェスタ」  
 10月28日 広島市連合地区地域保健対策協議会 令和6年度「糖尿病重症化予防対策検討委員会」  
 10月31日 国保組合理事会  
 11月1日 社会保険診療報酬支払基金再審査  
 11月7日 (県歯)会員サポート室会議  
 // (県歯)理事会  
 11月8日 【Web】令和6年度全国学校保健・安全研究大会(宮崎市)  
 // 令和6年度「8020」いい歯の表彰式  
 // (県歯)令和6年度8020達成者表彰並びに第39回広島県歯科保健文化賞表彰式  
 11月11日 令和6年度第1回広島市食育推進会議  
 11月12日 【Web】通信伝達訓練(衛生携帯電話、MCA無線)事前説明会  
 11月14日 (県歯)令和6年度広島国税局管内税務指導者協議会  
 11月15日 広島県国保連合会歯科再審査部会  
 11月16-20日 広島県国保連合会歯科審査部会  
 11月18日 第51回地域医療支援病院運営委員会  
 11月19日 通信伝達訓練(衛生携帯電話、MCA無線)  
 11月20-23日 社会保険診療報酬支払基金審査  
 11月21日 新規個別指導立会(2名)  
 // 国保組合理事会  
 11月24日 広島東洋カープ歯科健診  
 11月26日 広島被害者支援センター 設立20周年記念式典

## (連盟関係)

10月24日 岸田文雄総決起大会  
 10月27日 衆議院議員選挙投票日  
 // 衆議院議員総選挙報告会(岸田事務所・平口事務所)  
 11月1日 岸田文雄衆議院議員との面談  
 11月10日 自由民主党広島政経文化講演会並びに懇談会  
 11月18日 平口洋衆議院議員来館挨拶

## 「総務関係」

10月30日 顧問弁護士との懇親会  
 11月11日 広島市歯科医師会救急蘇生委員会  
 11月19日 広島市歯科医師会選挙管理委員会  
 11月25日 三役会  
 11月27日 広島県歯科医師会館防災訓練  
 // 定例理事会

## (慶弔関係)

11月2日 南区支部 小田正秀氏  
 厚生労働大臣表彰

// 中区支部 本山智得氏  
 日本歯科医師会会長表彰  
 11月8日 南区支部 中本雅志氏ご尊父様  
 (元市議会議長 中本弘氏)ご逝去  
 // 南区支部 中本雅志氏  
 歯科保健文化賞受賞  
 11月22日 中区支部 香川次郎氏ご母堂様ご逝去  
 11月27日 東区支部 細原賢一氏 広島市長表彰

## (入会退会関係)

10月31日 中区支部 梶谷和男先生退会  
 // 西区支部 力田悦子先生退会  
 11月1日 入会前面談(小野裕貴先生)  
 11月8日 東区支部 森田弘子先生入会  
 11月14日 入会後面談(森田弘子先生)

## (県歯理事会関係)

11月7日 (県歯)理事会

## (1) 総務部 (大井手理事)

10月29日 休診レセプト点検  
 11月1日 入会前面談(小野裕貴先生)  
 11月6日 定例委員会  
 11月12日 広島市連合地区地域保健対策協議会 通信伝達訓練事前説明会  
 11月13日 (県歯)医療管理部委員会  
 11月14日 入会後面談(森田弘子先生)  
 11月18日 (県歯)医療管理部小委員会  
 11月19日 広島市連合地区地域保健対策協議会 通信伝達訓練  
 11月27日 休診レセプト点検

## (2) 学術部 (花岡理事)

10月27日 第7回薬と健康の「やく薬フェスタ」  
 11月8日 定例委員会  
 11月11日 広島市歯科医師会救急蘇生委員会

## (3) 厚生部 (谷理事)

10月27日 衆議院議員総選挙報告会(岸田事務所・平口事務所)  
 11月2日 (県歯)ライフプランセミナー  
 11月5日 定例委員会  
 11月13日 (県歯)福祉厚生・育成部 常任委員会

## (4) 地域歯科保健部

11月15日 定例委員会  
 11月24日 広島東洋カープ歯科健診

## <地域保健> (土屋理事)

11月8日 令和6年度「8020」いい歯の表彰式  
 // デンタルパークHP小委員会  
 11月15日 アトラクトワンとの打合せ  
 11月24日 広島東洋カープ歯科健診

## <地域連携> (藤田理事)

10月24日 西区介護認定審査会

- // 8020 推進財団助成金事業会議  
 10月26日 第55回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会 本会議(熊本)  
 10月31日 西区介護認定審査会  
 11月7日 西区介護認定審査会  
 // 西区地域ケアマネジメント会議  
 11月10日 自由民主党広島政経文化講演会並びに懇談会  
 11月14日 西区介護認定審査会  
 11月19日 新規事業者面談(もちもちの木)  
 11月24日 広島東洋カープ歯科健診

<学校保健> (細原理事)

- 11月11日 令和6年度第1回広島市食育推進会議  
 11月27日 令和6年度広島市公衆衛生事業功労者等(保健衛生事業功労)表彰

(5) 広報部 (小島理事)

- 11月5日 校正委員会(だより11月号)  
 11月8日 令和6年度「8020」いい歯の表彰式  
 11月18日 FMちゅーピー収録

FMちゅーピー (放送日)

- 12月4日 「オーラルフレイルについて」 濱本 結太氏  
 12月18日 「知覚過敏の原因は」 永井 亮氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- ホームページアクセス数  
 一般サイト 訪問者 不明  
 ページビュー 不明  
 会員サイト 訪問者 不明  
 ページビュー 不明  
 LINE公式アカウント 登録者数 11月21日 174名

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

- 11月11日 広島市歯科医師会救急蘇生委員会

(9) 選挙管理委員会

- 11月19日 広島市歯科医師会選挙管理委員会

(10) 各部事業計画について

(11) 歯科医療安全相談

「協議事項」

- (1) 入会について (3名)  
 中区支部の安藤洋平氏の入会について承認、南区支部2名継続審議中  
 (2) 会費について (3名)  
 終身会員資格取得による会費額変更について3名承認。  
 (3) クリスマスパティーについて  
 内容について確認  
 (4) 新年互礼会について  
 内容について確認  
 (5) おくちの健康展について  
 内容について協議  
 (6) 節目年齢歯科健診について  
 内容について協議  
 (7) RCCラジオからの協賛依頼について  
 協賛しないことに決定  
 (8) その他

「その他」

特になし

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。



会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

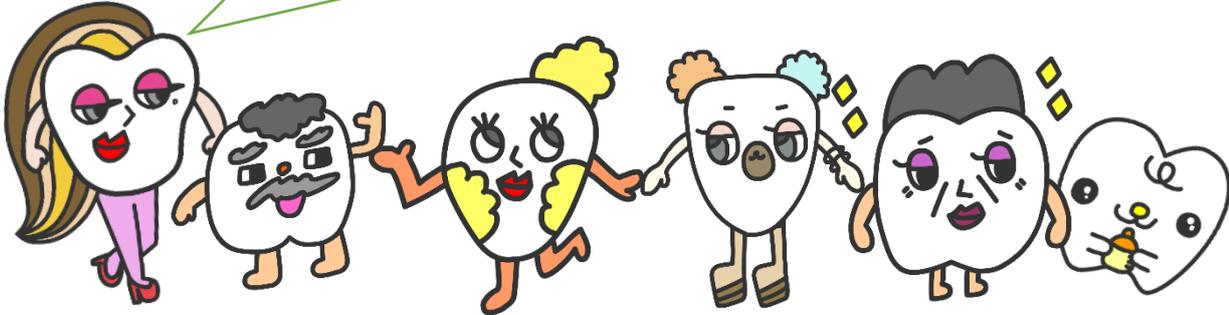
E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 小島将督

E-Mail: kojima.d.c@icloud.com



公式スタンプよろしくお願ひします！



スタンプの利用は市民の皆様への歯科分野啓蒙の一環としてお考へいただけたら幸ひです♡

## 広島市歯科医師会 Facebook・Instagram 開設



登録ならびにいいね！  
お願ひします☆

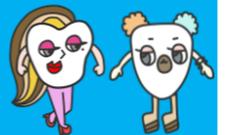


### LINE 公式アカウント 友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。  
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録お願ひします。  
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。



#### 今までの配信内容

11月 2日配信 大雨に伴う被害状況の確認について

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。

2024/7/22 Mon - 2025/1/31 Fri

広島市歯科医師会特別講演

鈴木哲也の  
よい義歯 だめな義歯  
2024



鈴木 哲也 先生

東京医科歯科大学 名誉教授  
広島大学 客員教授  
日本補綴歯科学会 専門医/指導医  
日本老年歯科医学会 専門医/指導医  
日本歯料理工学会 Dental Materials Senior Adviser  
日本義歯ケア学会 義歯ケアマイスター

Part1

これで痛くない、  
コンプリートデンチャーの  
粘膜調整と咬合調整のルール



Part2

これだけで変わる、  
パーシャルデンチャーの  
前処置と調整のルール



一般 19,800円(税込)

特別紹介 11,000円(税込)

広島市歯科医師会会員 無料